



開館時間

- 中央図書館
平日 9:00~20:00
土日祝 9:00~18:00
- 豊科・三郷・堀金・明科図書館
10:00~18:00

文字の読書が困難な方は、図書館へご相談ください

安曇野市図書館
キャラクター「ぼぼん」

5	日	月	火	水	木	金	土
						1	2
	3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16	
17	18	19	20	21	22	23	
24	25	26	27	28	29	30	
31							

●全館共通休館

5月の図書館イベント

日 日時 場 場所 対 対象 講 講師 費 費用 定 定員 持 持物 申 申込

中央図書館 大人のためのものづくり講座 天蚕ブローチを作ろう



天蚕を使ったワークショップとブックトークをします。

- 日 5月1日(金) 13:30~16:00 場 「みらい」学習室
- 対 18歳以上 講 赤羽悦子さん
- 費 1,000円 定 15人(先着順)
- 申 4月21日(火)から
- 直接または電話で
- 問 中央図書館 Tel.84-0111



堀金図書館 短編集を楽しむ会 参加者募集



テキスト「大きな文字でもう一度読みたい文豪の名作短編集」(彩図社)から作品を読み合い、感想や意見を交換します。

- 日 6月2日~(全6回) 毎月第1火曜日、13:30~15:00
- 対 中学生以上 費 無料 定 15人(先着順)
- 申 4月23日(木)から直接または電話で
- 問 堀金図書館 Tel.72-3601

豊科×南農 in 中央図書館 創作絵本展示



豊科高校2年生と南安曇農業高校1年生が美術の授業で作成した絵本を展示します。個性の光る作品がたくさん!

- 期 5月1日(金)~5月10日(日) 9:00~18:00
- 場 「みらい」交流ギャラリー
- 問 中央図書館 Tel.84-0111

中央図書館 映画上映会

申 不要 費 無料



PEACE・NIPPON(上映時間111分)

日本を愛する映像作家たちが8年もの歳月をかけ、全国47都道府県・200箇所以上で撮影した四季折々の絶景映像を映画化。日本の魅力を再発見する“一期一会”の旅をお楽しみください。

- 日 5月8日(金) 18:00~(17:30開場)
- 場 「みらい」多目的交流ホール
- 対 どなたでも
- 定 100人(当日先着順)
- 問 中央図書館 Tel.84-0111

三郷図書館・三郷公民館協働 映画上映会

申 不要 費 無料



映画よみがえる安曇野(上映時間54分)

地域映画よみがえる安曇野2(上映時間60分)

市民から提供された8ミリフィルムを元に制作した昭和の安曇野の日常風景の記録です。

- 日 5月16日(土) 13:30~(13:00開場)
- 場 三郷公民館講堂
- 対 どなたでも
- 定 150人(当日先着順)
- 問 三郷図書館 Tel.76-3078

Info 全館休館日の変更

5月に予定していたシステム改修による全館休館は、6月以降に変更となりました。詳細が決まり次第お知らせします。

安曇野市美術館 春の特別展 第118回日展安曇野展関連企画

5月2日~31日の期間中にさまざまな企画を行います。

美術館オリジナルドリップバックコーヒー配布

期 5月12日(火)~15日(金) 各日9:00~

場 エントランスホール受付

対 入館券を購入した先着100人

費 要入館料

夜間開館

開館時間を午後8時まで延長します。

日 5月15日(金)・29日(金)

費 要入館料

他 入館は19:30まで

日展作家ギャラリートーク

日 期間中の土・日曜日、祝日 14:00~15:00

費 要入館料

申 不要

問 安曇野市美術館 Tel.73-5638



貞享義民記念館 貞享騒動340年関連事業



基礎講座 はじめての貞享騒動

①貞享騒動ってどんな一揆? ②貞享騒動の物語化
多田加助らと農民が松本城へ押し寄せた大規模な百姓一揆・貞享騒動をわかりやすく解説します。

日 ①5月16日(土)②5月30日(土) 13:30~15:30

場 研修室 講 寺島俊郎(館長) 費 各300円 定 各20人(先着順)

松本城下町ウォーク

貞享騒動ゆかりの地を巡り、町の成り立ちや当時の暮らしをたどります。

日 5月27日(水) 9:30~12:00

場 大手門櫓形跡広場(なわて通り入口)

講 上條昌明さん(松本城専門研究員)

費 1,000円 定 20人(先着順)

共通事項

日 4月21日(火)から電話で

問 貞享義民記念館 Tel.77-7550

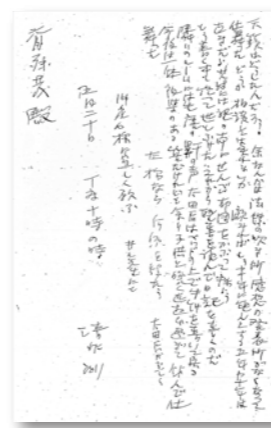


小説『安曇野』を読もう!

第13回 第4部(その一七から二四) 新型爆弾、ソ連参戦そして玉音放送

怒濤の南下侵攻でシンガポールを陥落させた日本軍。東条首相は貴族両院の本会議場で勝利を宣言し、インド独立の援助を表明します。しかし、インド独立運動の中軸にいたラス・ビハリ・ボースは断じて日本の言いなりにはならないと決意します。そして、良が「この日を決して忘れない」と語った開戦翌年の昭和17年4月18日、東京に警戒警報が発令され、日本は米軍から初めて空襲を受けました。

第4部の終盤はミッドウェー海戦や原子爆弾投下、ソ連参戦、玉音放送など戦争の描写が続き、最後はマッカーサーが登場します。



清澤潤書簡 斎藤茂宛(文書館中島博昭氏資料) 研成義塾の同人誌「天籟」の編集をしていただいた清澤が次号発行を促しています

その二一では清澤潤と斎藤茂が戦時下の政局や言論、国民意識の実情を書簡で語り合います。二二では体調不良が続くボースが長女哲子と穂高の相馬家を訪問。ボースが哲子に語り掛ける安曇野の風景や人々の営みが愛おしく感じられる章です。

最終章二四では東京大空襲により中村屋が焼失します。6月11日愛蔵は「中村屋は解散しても、お互いによく連絡をし合ってきつと生きぬきたい。生きぬかなくてはいけないと思います。長いこと苦労さまでした。ではさようなら。」と最後まで残ったスタッフ89人に中村屋の解散を告げます。

■動画 カレーからはじまる物語 小説『安曇野』の世界へ

中村屋カレーから小説『安曇野』をわかりやすく解説した、子どもから楽しめる動画を市公式YouTubeで公開しています。一皿のカレーの裏にある壮大な物語をぜひご覧ください。

